



MOTTO-HOT
HA86
 PROJECT
 with BRILL
 MOTTO-HOT

前回のオイル交換から約半年が経過したHA編集部86。今回は猛暑を乗り切ったエンジンの疲れを癒すべく、エンジンオイルとオイルフィルターを交換してみた。今回使用したオイルはSUNOCOが誇る新作オイル“BRILL(ブリル)”だ。

猛暑を乗り切ったボクサーを新しいオイルで癒す!

86 Maintenance Point
 今月のテーマ
Engine Oil

スポーツカーにピッタリな
レーシングオイル“BRILL”を注入!!

86の体調を整えるべく高性能オイルに交換

オイルの交換サイクルはいろいろ見解があるけど、筆者の経験則では走行5000kmごとの交換でまず間違いはない。オイルフィルターは1万kmごとが基本だ。組成的に劣化の少ない100%化学合成オイルは長持ちするけど、それでも1万km程度が限度だろう。

グレードは、今、店頭に並んでいるオイルのほとんどがAPIのSL級以上だからそれで問題ナシ。粘度についてはメーカーの指定どおりで1年中問題なく使えるが、夏場に少し硬くしたり、冬場に1ランク柔らかくしてみるもの面白い。ただし、最近採用する車種が増えている0W-20や5W-20といった低粘度オイルは、指定されていないクルマに使うとエンジンを壊す可能性もあるので気を付けよう。ちなみに86の指定粘度は0W-20もしくは5W-30。今回はSUNOCOの最新ブランド『BRILL』の0W-20をチョイスした。

用意したツールは、ドレンボルトを脱着するためのソケットレンチとオイルフィルターレンチ、廃油を受けるためのパレット、新しいオイルを入れるためのオイルジョッキ。ウエスとパーツクリーナーも必需品だ。抜いたオイルの処理に廃油処理箱を使うならパレットは不要。ドレンボルトのパッキンは1個50～100円で購入できるので、できれば毎回交換したい部品だ。

今回は車高が下がっていることもあって、片側を斜めにカットした角材にフロントタイヤを乗り上げて作業スペースを確保した。この場合、最終的なオイル量は角材からフロントタイヤを下ろしてからチェックすることを忘れずに。

BRILLのフィーリングについては、今後本コーナーで随時レポートしていくので楽しみに。

エンジンオイルの交換手順



①～②フロントを少し上げる必要はあるが、ドレンボルトの位置はそんなに奥まっていない。③～④オイルフィルターもオイルフィルターのすぐ横にあり、作業性は高い部類に入る。⑤～⑥ペットボトルの先端をカットした特製ジョウゴを使えばオイルジョッキも不要だ。

今回使用したオイルはコレ!

SUNOCOの新製品『BRILL』は、独自のエステル技術「ES-TECH(エステック)」を駆使し、レーシングオイルとして開発されたノンポリマー仕様の100%化学合成油。過酷な状況下でも安定した油圧と優れた耐蒸発性、耐摩耗性を発揮する。0W-20、12.5W-40、17.5W-50の3タイプがあり、混合することで任意の粘度を作ること可能だ。

■価格:オープン ■問い合わせ先:SUNOCO(日本サン石油)
 ☎03-3238-0236 <https://www.sunoco.co.jp/>

SUNOCO BRILL(0W-20)



BRILLの混合比の例

| 混合後SAE(粘度) | 0W-20 | 12.5W-40 | 0W-20 | 17.5W-50 |
|------------|-------|----------|-------|----------|
| 2.5W-25 | 90% | 10% | 95% | 5% |
| 5W-25 | 75% | 25% | 80% | 20% |
| 5W-30 | 60% | 40% | 75% | 25% |
| 7.5W-30 | 50% | 50% | 60% | 50% |
| 7.5W-35 | 30% | 70% | 50% | 50% |
| 10W-35 | 25% | 75% | 45% | 55% |
| 10W-40 | 10% | 90% | 35% | 65% |

※12.5W-40と17.5W-50を組み合わせるとさらに粘度を高めることも可能だ